



# JA やまがた自己改革取組宣言

【これまでも、これからも、地域とともにJA やまがたは総合事業を展開します】

「農業者の所得増大」と「農業生産の拡大」へ力を注ぎ「地域活性化」への貢献、「自己改革の実践を支えるJAの経営基盤」の確立を目指し、積極的な事業展開と地域に密着した愛されるJA やまがたを目指してまいります。

## 【協同組合とは、組合員の一人ひとりが力を合わせ、みんなの願い実現させる組織です】

JA やまがたは、農業者が(正組合員)が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業(JAバンク)、共済事業(JA共済)などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

農業者以外の方で、地域農業の発展や地域づくり、ニッポンの食を応援していただける方は、地域農業の応援団として准組合員の応援団として准組合員として加入いただいております。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業の収支のなかで実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業施設投資が可能で

いわば、農業者と地域農業の応援団で、JAの総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取り組みを次の3点により紹介します。

### 【1】魅力ある産地づくりへの支援

(農業経営法人等支援積立金\*農業経営法人等支援積立金\*積立金 196,531千円)  
農業振興策における生産資材費に助成

### 【2】新たな担い手育成への支援

### 【3】地産地消への支援

## 【JA やまがたの営農指導事業の主な取り組みは次のとおりです。】

- 1 後継者育成・新規就農者の支援のため、平成30年度より(1.2畝)野菜ハウス団地(きゅうり)を造成し、農家組合員の専門的知識やアドバイスをいただきながら育成・就農支援事業に取り組み、農業生産の拡大をしています。また、平成31年度の栽培に向け、現在は野菜ハウス団地の第二期造成工事(1.2畝)を着手しており、更なる農業生産の拡大を目指しています。
1. 果樹園芸の取扱い増加と農作物の生産振興を図るため、平成31年度より栽培予定である果樹ハウス団地(シャインマスカット)の造成工事(1.2畝)を着手し、今後の販売力強化に向け取り組んでいます。
3. 青果物等については、市場の集約や規格を統一して一元販売に取り組み、販売ロットを拡大させることによって、市場に対する販売が効果的に働き有利販売につながっています。
4. 平成31年4月末に、JAやまがた最大の面積を誇る「おいしさ直売所落合店」がオープン予定です。消費者の“安全・安心”な地元農産物の購買意欲と生産者の農産物生産意欲を高め、尚一層の生産者と消費者の絆を強めてまいります。(地域の活性化と地域社会への貢献事業の取り組みにもつながっております。)
5. 米穀については、全集荷数量分の37%相当量をJA独自販売により、JAやまがた米の有利販売に取り組んでいます。
6. TACT・営農センターが連携し、設備投資等の資金需要や補助金に関する的確なアドバイスにより、農業関連資金に関するノウハウが徐々に浸透し効果を表してきています。
7. JAやまがた管内産のPRのため、山形県内外においてトップセールスを軸に、農畜産物の消費宣伝会を実施し、安心安全な農畜産物の普及拡大に取り組んでいます。
8. 農業者・組合員の皆様のお役に立つため、各種税務申告の相談や事業承継・相続相談業務を展開し、職員のスキルアップに取り組みながら地域の皆様のご要望にお応えしています。